

令和2年3月の優しさ通信

目次

- (1) 🗑️ 認知症になったときの不安「家族に負担」7割 内閣府調査
 - (2) ♿️ 吃音 幼児期の診療指針 5歳ごろまでに判断 共有を
 - (3) 🗑️ 御用聞き、いざ滋賀県外 平和堂 買い物・家事代行
 - (4) 🗑️ 介護保険料4月大幅上げ 給付の抑制 急務に
 - (5) 🗑️ 高齢者、住みながら働く サ高住などで接客や農作業
 - (6) 🗑️ 介護保険を「卒業」500人 個人計画 AIで作成
- ♥️ **今月の福祉用具－機能的衣服とデザイン 車いす使用の場合**

(1) 🗑️ 認知症になったときの不安「家族に負担」7割

内閣府調査

自身が認知症になったときに不安になることは何か		
家族に身体的・精神的負担をかける	73.5%	2015年調査比1.4ポイント減
家族以外の周りの人に迷惑を掛けてしまう	61.9%	2015年調査比5.4ポイント増
認知症になった際の暮らし方について		
医療・介護などのサポートを受けながら、今まで暮らしてきた地域で暮らしたい	28.9%	
周りの人に迷惑をかけるため、介護施設でサポートを受けながら暮らしたい	27.7%	

(2020年2月1日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(2) 吃音 幼児期の診療指針 5歳ごろまでに判断 共有を

*国立障害者リハビリテーションセンターなどは2020年末をめどに、言葉が詰まったり、同じ音を繰り返したりする「吃音」に関するガイドラインを作成。

幼児期の吃音診療ガイドライン案の概要

吃音の発症など

- ・2~4歳に発症することが多い。5歳ごろになっても改善しなければ専門家に相談を。
- ・10~20人に1人ほどの割合で吃音が出る。7~8割は言葉の能力の発達に伴い消える。
- ・育て方のせいで、吃音になることはない。
- ・主要な治療法として2つあり、いずれも約7割に効果がある。

家族にできる子供への主なサポート

- ・つかえるかどうかではなく、子供の話の内容の方にじっくり耳を傾ける。
- ・うなずいたり、同感や同意したりすると子供は話しやすくなる。
- ・急がず、ゆっくり、たびたび間を取り話しかける。
- ・「話を聞いているよ」「時間は十分にあるよ」というメッセージを伝える。
- ・子供をあるがままに見て、肯定的な言葉で伝える。

(2020年2月12日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) 御用聞き、いざ滋賀県外 平和堂 買い物・家事代行

北陸・東海でも地域密着

*平和堂は今春にも、買い物や家事の代行サービスを北陸と東海に広げます。

*同サービスは、高齢者や妊婦などの買い物が困難な人を主な対象として2010年に開始。会員制で年会費1000円(税込み)。

*買い物代行は、朝9~11時に買ってほしいものを電話かFAXで聞き、1回につき配達料100円(税別)で当日夕方までに家に配達。

*家事代行は、配達の際、スタッフに依頼するケースが多いようです。高齢者が独力で行うのが難しい様々な家事の代行を手掛けます。

*スタッフには主に平和堂のOBとOGを採用。

*2019年度の会員数は、2018年度比8%増の5550人。

*同事業は赤字で、収益性の向上が課題。

*会員数の拡大が黒字化へのカギ。

(2020年2月13日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(4) 介護保険料 4月大幅上げ 給付の抑制 急務に 年1万円超の負担増 大企業続出

*主に大企業で働く会社員の介護保険料が4月から大幅に上がります。

*年収が高い人に多く払ってもらう仕組みが全面施行され、年1万円を超える負担増になる人が続出。

*介護保険料は原則、40歳以上のすべての人が負担。

*高齢者の自己負担は原則1割。

*企業で働く人の場合、保険料は企業と折半の負担。



※介護保険 40歳以上に加入義務付け

*高齢で介護が必要になった人を社会全体で支える仕組み。2000年に創設。

*40歳以上になると介護保険への加入が義務付けられます。

*介護サービスにかかった費用は2018年度で10兆円。

*原則1割とされている高齢者の自己負担額を除いた金額の半分を国と自治体が負担し、残りを高齢者と現役世代の保険料で賄っています。

*要介護認定を受けている人は、2018年3月末で641万人。

(2020年2月18日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(5) 高齢者、住みながら働く サ高住などで接客や農作業 生きがい・収入獲得

*高齢者向け施設で、入居者が働いて収入を得る機会を設ける動きが広がっています。

・要介護度が低い人らに軽作業や接客の仕事を提供し、生きがいを感じたり、生活費を補ったりしてもらいます。

*2019年の介護サービス職の有効求人倍率は4.31倍と、全職業の1.45倍を大きく上回ります。

*入所者に働いてもらい、施設内の人手を補う試みも。

(2020年2月23日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(6) 介護保険を「卒業」500人 個人計画 AIで作成

ポラリス、身体機能回復で自立支援

*デイサービスを中心に介護事業を手掛けるポラリス（兵庫県宝塚市）は、身体機能の改善を狙った「自立支援介護」を国内外に広げようとしています。

・パナソニックと組み、人工知能（AI）を使ったリハビリ計画づくりにも着手。

・利用者の体力や「立ち上がる」「歩く」といった基本的な動作能力の向上に重点を置きます。

*2000年の創業以来、500人超が介護保険から「卒業」しました。

（2020年2月26日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



今月の福祉用具－機能的衣服とデザイン

車いす使用の場合

*上着の後ろ着丈を短くして、車いすの座面につかえないようにします。

*脊椎損傷等によって下半身が不自由な場合、血液循環が悪くなるので保温に気を付けます。

*車いすのずり落ち防止ベルトは高齢者や障がい者を拘束することにもなるので、禁止されています。

*移動の際の危険を考えベルトをすることはともかく、四六時中ベルトをすることは拘束になります。

*レインコートや防寒コートも必需品です。

（参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより）

